

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	岡山県		市町村類型	IV-1	指定団体等の指定状況		区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	7,384,480			7,676,110	実質収支比率		
市町村名	矢掛町		地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳入歳出差引	484,334	600,056	經常収支比率	86.8	81.2	(93.0)	(88.3)
					首都	×	翌年度に繰越すべき財源	10,820	43,304	標準財政規模	4,504,229	4,589,033		
					近畿	×	実質収支	473,514	556,752	財政力指数	0.38	0.39		
					中部	×	単年度収支	-83,238	142,154	公債費負担比率	11.6	11.1		
人口	22年国調(人)	15,092	産業構造(※5)		過疎	○	積立金	37,031	24,293	健全化判断比率	-	-	実質赤字比率	-
	17年国調(人)	15,713			山振	○	繰上償還金	-	2,107	連結実質赤字比率	-	-		
	増減率(%)	-4.0			区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	3,000		
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	15,270	第1次	599	936	指数表選定	○	実質単年度収支	-46,207	165,554	将来負担比率	6.6	15.6	
	23.03.31(人)	15,414		8.9	12.0	基準財政収入額	1,460,433	1,443,199	基準財政需要額	3,817,400	3,827,878	資金不足比率(※4)	-	-
面積(km ²)	90.62		第2次	35.7	37.7	標準税収収入額等	1,850,163	1,827,452	經常経費充当一般財源等	3,897,125	3,803,658	歳入一般財源等		
人口密度(人/km ²)	167			3,706	3,895	地方債現在高	6,328,845	6,190,215	うち公的資金	5,879,401	5,670,485			
世帯数(世帯)	4,947		第3次	55.3	50.1	債務負担行為額(支出予定額)	142,337	176,575	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高		
職員の状況						積立金現在高	172,169	70,376	財政調整基金	3,339,357	3,023,326			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	積立金現在高	2,334,173	2,034,091	その他特定目的基金			
	市区町村長	1	7,900	一般職員	93	278,070	2,990	地方債現在高	6,328,845	6,190,215				
	副市区町村長	1	6,500	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	142,337	176,575				
	教育長	1	5,950	うち技能労務職員	2	5,088	2,544	収益事業収入	-	-				
	議会議長	1	3,320	教育公務員	6	19,950	3,325	土地開発基金現在高	170,000	170,000				
	議会副議長	1	2,700	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	172,169	70,376				
	議会議員	10	2,500	合計	99	298,020	3,010	財政調整基金	3,339,357	3,023,326				
				ラスパイレス指数(※6)		103.7	(95.8)	その他特定目的基金	2,334,173	2,034,091				
一般会計等の一覧	会計名	事業会計の一覧	会計名	公営企業(法適)の一覧	会計名	公営企業(法非適)の一覧	会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	団体名	(※3)		
(1) 一般会計		(3) 矢掛町国民健康保険事業特別会計		(7) 矢掛町水道事業会計		(10) 矢掛町農業集落排水事業特別会計		(13) 井笠地区農業共済事務組合農業共済事業会計		(23) 矢掛町畜産公社		○		
(2) 矢掛町住宅新築資金等貸付事業特別会計		(4) 矢掛町介護保険事業特別会計		(8) 矢掛町病院事業会計		(11) 矢掛町公共下水道事業特別会計		(14) 岡山県井原地区清掃施設組合一般会計		(24) 矢掛町土地開発公社				
		(5) 矢掛町介護サービス事業特別会計		(9) 矢掛町介護老人保健施設事業会計		(12) 矢掛町地域開発事業特別会計		(15) 井原地区消防組合一般会計						
		(6) 矢掛町後期高齢者医療事業特別会計						(16) 岡山県西部衛生施設組合一般会計						
								(17) 岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合一般会計						
								(18) 岡山県市町村総合事務組合一般会計						
								(19) 岡山県市町村総合事務組合貸付金特別会計						
								(20) 岡山県市町村総合事務組合脱退還付金特別会計						
								(21) 岡山県市町村総合事務組合交通災害共済特別会計						
								(22) 岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計						

(注釈) ※1: 經常収支比率の()内の数値は、「繰越補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,530,266	20.7	1,530,266	36.5	普通税	1,530,266	100.0	11,413	
地方譲与税	99,575	1.3	99,575	2.4	法定普通税	1,530,266	100.0	11,413	
利子割交付金	5,857	0.1	5,857	0.1	市町村民税	609,316	39.8	11,413	
配当割交付金	3,708	0.1	3,708	0.1	個人均等割	21,218	1.4	-	
株式等譲渡所得割交付金	755	0.0	755	0.0	所得割	491,110	32.1	-	
地方消費税交付金	135,204	1.8	135,204	3.2	法人均等割	27,086	1.8	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	69,902	4.6	11,413	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	787,510	51.5	-	
自動車取得税交付金	19,681	0.3	19,681	0.5	うち純固定資産税	786,244	51.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	45,490	3.0	-	
地方特例交付金	22,993	0.3	22,993	0.5	市町村たばこ税	87,950	5.7	-	
児童手当及び子ども手当特例交付金	9,047	0.1	9,047	0.2	釧産税	-	-	-	
減収補填特例交付金	13,946	0.2	13,946	0.3	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	2,618,193	35.5	2,356,967	56.2	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	2,356,967	31.9	2,356,967	56.2	目的税	-	-	-	
特別交付税	261,225	3.5	-	-	法定目的税	-	-	-	
震災復興特別交付税	1	0.0	-	-	入湯税	-	-	-	
(一般財源計)	4,436,232	60.1	4,175,006	99.6	事業所税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	2,410	0.0	2,410	0.1	都市計画税	-	-	-	
分担金・負担金	153,796	2.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
使用料	154,898	2.1	4,825	0.1	法定外目的税	-	-	-	
手数料	8,832	0.1	-	-	旧法による税	-	-	-	
国庫支出金	636,774	8.6	-	-	合計	1,530,266	100.0	11,413	
国庫提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	591,133	8.0	-	-					
財産収入	79,428	1.1	5,467	0.1					
寄附金	211,185	2.9	-	-					
繰入金	39,788	0.5	-	-					
繰越金	265,056	3.6	-	-					
諸収入	123,749	1.7	4,810	0.1					
地方債	681,199	9.2	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	297,099	4.0	-	-					
歳入合計	7,384,480	100.0	4,192,518	100.0					

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	99.0	95.7	98.7	95.1
(%)	年・計	99.4	96.3	99.0	95.7
		98.6	94.9	98.4	94.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,337,176	実質収支	241,951
下水道	418,988	再差引収支	216,054
病院	237,778	加入世帯数(世帯)	2,173
介護サービス	28,358	被保険者数(人)	3,769
上水道	19,234	被保険者	保険税(料)収入額
国民健康保険	108,619	1人当り	国庫支出金
その他	524,199		保険給付費
			326

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	111,442	1.6	-	111,442	
総務費	874,693	12.7	17,968	739,264	
民生費	1,745,195	25.3	17,935	945,468	
衛生費	649,672	9.4	10,613	577,933	
労働費	75,940	1.1	-	728	
農林水産業費	538,041	7.8	118,109	323,604	
商工費	55,671	0.8	4,293	48,604	
土木費	906,651	13.1	418,900	468,649	
消防費	282,636	4.1	5,452	275,527	
教育費	1,019,160	14.8	301,897	507,656	
災害復旧費	3,131	0.0	-	2,031	
公債費	637,914	9.2	-	587,939	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	6,900,146	100.0	895,167	4,588,845	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,172,799	31.5	1,508,519	1,455,255	32.4
人件費	944,260	13.7	774,660	721,396	16.1
うち職員給	532,445	7.7	395,189	-	-
扶助費	590,625	8.6	145,920	145,920	3.3
公債費	637,914	9.2	587,939	587,939	13.1
元利償還金	637,897	9.2	587,922	587,922	13.1
内 うち元金	542,569	7.9	501,820	501,820	11.2
訳 うち利子	95,328	1.4	86,102	86,102	1.9
一時借入金利子	17	0.0	17	17	0.0
その他の経費	3,829,049	55.5	2,938,671	2,441,870	54.4
物件費	1,095,306	15.9	756,374	683,707	15.2
維持補修費	95,564	1.4	65,482	53,933	1.2
補助費等	1,056,733	15.3	918,028	813,246	18.1
うち一部事務組合負担金	387,284	5.6	387,284	373,367	8.3
繰出金	1,051,806	15.2	977,257	890,984	19.8
積立金	419,003	6.1	136,926	-	-
投資・出資金・貸付金	110,637	1.6	84,604	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	898,298	13.0	141,655	-	-
うち人件費	14,163	0.2	4,246	-	-
内 普通建設事業費	895,167	13.0	139,624	-	-
うち補助	680,365	9.9	14,606	-	-
うち単独	197,945	2.9	117,959	-	-
災害復旧事業費	3,131	0.0	2,031	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	6,900,146	100.0	4,588,845	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成23年度 岡山県矢掛町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Rows include 1 一般会計, 2 矢掛町住宅新築資金等貸付事業特別会計, etc.

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 資金不足比率, 備考. Rows include 1 矢掛町国民健康保険事業特別会計, etc.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 備考. Rows include 1 井原地区農業共済事務組合農業共済事業会計, etc.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table with columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る債務残高, 当該団体からの損失補償に係る債務残高, 一般会計等負担見込額, 備考. Rows include 1 矢掛町畜産公社, etc.

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

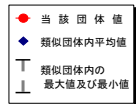
Table showing public debt fee burden status with columns: 区分, 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 分母比. Includes sections for 元利償還金, 内訳, 特定財源の額, etc.

将来負担の状況

Table showing future burden status with columns: 区分, 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 分母比. Includes sections for 将来負担額, 健全化判断比率, etc.

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	15,270 人(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	90.62 km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	7,384,480 千円	実質公債費比率	11.1 %
歳出総額	6,900,146 千円	将来負担比率	6.6 %
実質収支	473,514 千円	市町村類型	H19 IV-1 H20 IV-1 H21 IV-1
標準財政規模	4,504,229 千円	(年度毎)	H22 IV-1 H23 IV-1
地方債現在高	6,328,845 千円		

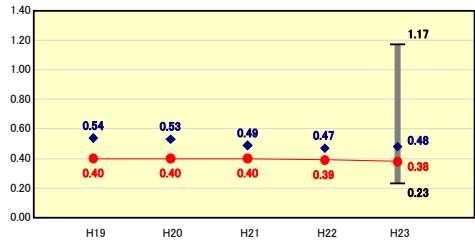


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.38]

類似団体内順位 15/24 全国平均 0.51 岡山県平均 0.42

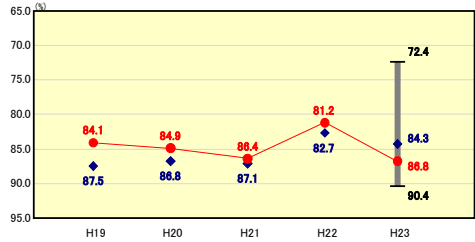


財政力指数の分析欄
 矢掛町では、企業誘致の推進等により税収増加を図っているところだが、人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成25年2月末34.01%)等により財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っており、地方交付税に依存した財政運営となっている。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [86.8%]

類似団体内順位 15/24 全国平均 90.3 岡山県平均 87.6

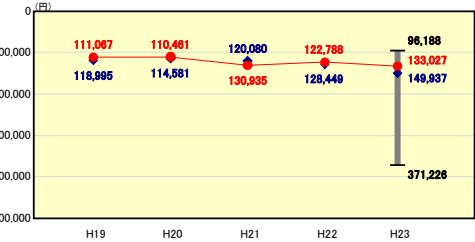


経常収支比率の分析欄
 矢掛町では、経常一般財源等が対前年度比4.2%減少しているのに対し、経常経費充当一般財源が2.5%増加したことにより、経常収支比率が5.6ポイント増加しており、類似団体より2.5ポイント高い水準となっている。経常経費のうち特に企業会計への繰出金の増加が大きく、中でも公共下水道事業会計への繰出しが大きく増えており、物件費の伸びも大きな要因となっている。今後も引き続き人件費・物件費・補助費等・維持補修費について抑制する努力を続けていく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [133,027円]

類似団体内順位 11/24 全国平均 119,477 岡山県平均 119,544

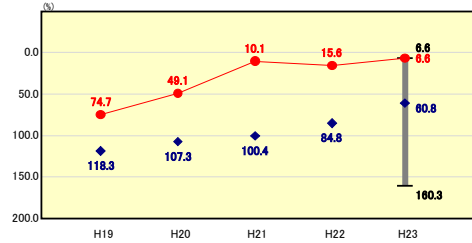


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 緊急雇用創出対策事業による委託料の増加等により前年度に比べ8.3%増加したものの、類似平均団体の対前年度比16.7%に比べると伸び幅は抑制されている。今後については財源の伴わない増額とらないよう引き続き人件費・物件費の抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [6.6%]

類似団体内順位 3/24 全国平均 69.2 岡山県平均 85.3

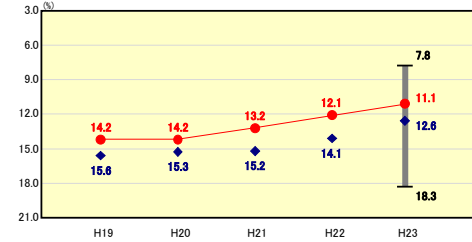


将来負担比率の分析欄
 矢掛町は類似団体平均を大きく下回っており、その主な要因としては財政調整基金等充当可能基金への積立により基金が増額していることが挙げられる。
 平成22年度の過疎地域指定に伴い、過疎対策事業債(後年度の元利償還額の7割が地方交付税で措置)の発行が認められたため、その積極的な活用による事業展開により今後は公債費の増加が見込まれるが、地方交付税措置のない地方債の発行を見合わせるなど全体的な地方債現在高の抑制を図り、財政の健全化に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [11.1%]

類似団体内順位 10/24 全国平均 9.9 岡山県平均 14.0

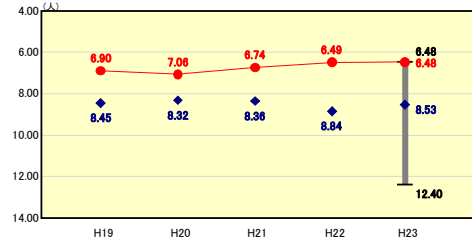


実質公債費比率の分析欄
 矢掛町では元利償還金等の減少により対前年度比1.0ポイント減少し、類似団体と比較して1.5ポイント低い水準となっている。今後も計画的な公債費対策を実施し、比率のさらなる改善に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.48人]

類似団体内順位 1/24 全国平均 7.17 岡山県平均 7.77

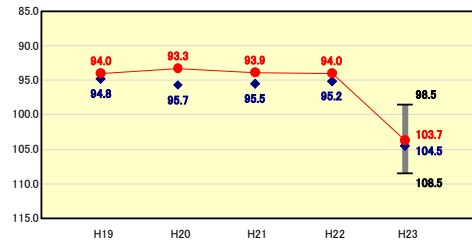


人口千人当たり職員数の分析欄
 矢掛町の場合、類似団体より約2.05人少なくなっているが、今後とも長期的視点に立った財政運営においては人件費の縮減が常に行政改革の主要課題であるため、非常勤職員等のスポット活用、OA機器の効率的活用、業務の民間委託の推進を図り、人件費の縮減を図っていく。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレズ指数 [103.7]

類似団体内順位 10/24 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



ラスパイレズ指数の分析欄
 国家公務員の時限的な給与減額措置により、100を超える指数となっているが、類似団体平均と比べると0.8ポイント低い水準となっている。
 矢掛町は55歳からの昇給抑制、各種手当(管理職手当、住居手当、時間外勤務手当等)の縮減等を実施しているが、平成25年度は国の要請に基づきラスパイレズ指数が100未満となるよう給与減額措置を行う方向で進めている。

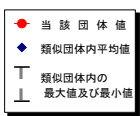
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

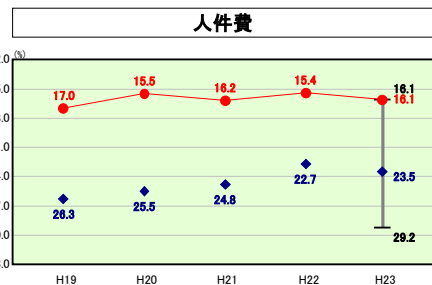
岡山県矢掛町

経常収支比率の分析

人口	15,270 人(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	90.62 km ²	連結実質赤字比率	- %
歳入総額	7,384,480 千円	実質公債費比率	11.1 %
歳出総額	6,900,146 千円	将来負担比率	6.6 %
実質収支	473,514 千円	市町村類型	H19 IV-1 H20 IV-1 H21 IV-1
標準財政規模	4,504,229 千円	(年度毎)	H22 IV-1 H23 IV-1
地方債現在高	6,328,845 千円		

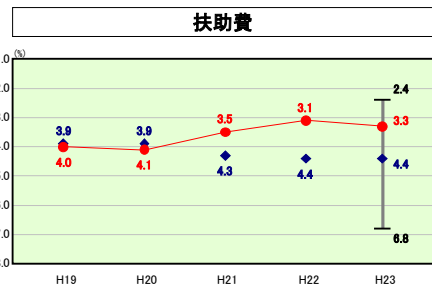


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



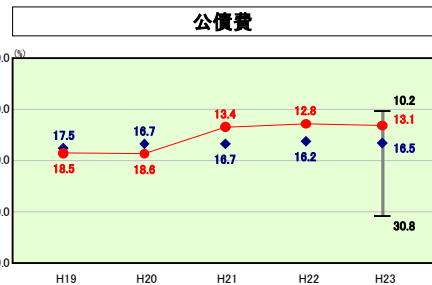
類似団体内順位 1/24 全国平均 25.4 岡山県平均 24.1

人件費の分析欄
各種職員手当ての見直し等を行うことで人件費の抑制に努め、また、団塊の世代の大量退職により職員一人あたり給与費が減少した結果、類似団体内では人件費比率が最も低くなっている。



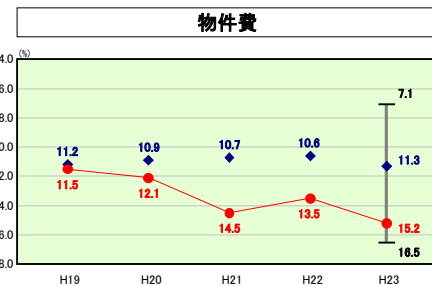
類似団体内順位 3/24 全国平均 10.5 岡山県平均 9.7

扶助費の分析欄
子ども手当の増加等により昨年度と比較して決算額は増額になっており、全体に占める割合は0.2ポイント高くなっているが、類似団体と比べて低い水準を維持している。



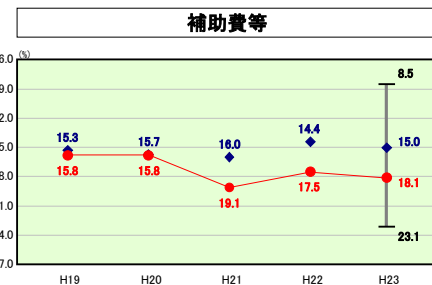
類似団体内順位 8/24 全国平均 19.0 岡山県平均 19.6

公債費の分析欄
矢掛町では、従来から地方交付税措置のある有利な地方債を優先的に借り入れ、実質的な公債費の抑制を図ってきた。また、公的資金補償金免除繰上償還を行うなど、後年度負担の軽減にも取り組んできた。その結果、公債費及び公債費に準ずる費用の比率は類似団体と比較して若干低くなっている。



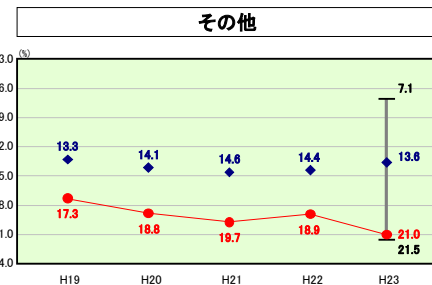
類似団体内順位 21/24 全国平均 13.1 岡山県平均 11.5

物件費の分析欄
矢掛町では、嘱託・臨時職員を積極的に活用しているため賃金の比率が高く、物件費については類似団体と比較しても3.9ポイント高い水準となっている。また、前年度と比較すると1.7ポイント高くなっているが、これは国の緊急経済対策に伴うもので、緊急雇用創出対策事業による委託料(物件費)等の増加が主な要因である。



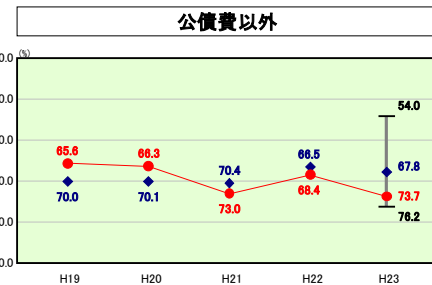
類似団体内順位 19/24 全国平均 10.1 岡山県平均 8.2

補助費等の分析欄
地域支え合い体制づくり事業補助金や定住促進助成金の皆増のため昨年度と比較して0.6ポイント高くなっている。依然、一部事務組合に対する負担金や公営企業会計に対する繰出金が多額であることから、類似団体と比較して高い水準となっている。今後も引き続き基準に則った適正な負担金・補助金の執行に努める。



類似団体内順位 23/24 全国平均 12.2 岡山県平均 14.5

その他の分析欄
依然として類似団体平均を上回っているのは、介護保険事業特別会計等公営事業会計及び公共下水道事業特別会計等の法非適用公営企業会計への繰出金が多額であることによるものである。今後も引き続き基準に則った適正な繰出金の執行に努める。



類似団体内順位 20/24 全国平均 71.3 岡山県平均 68.0

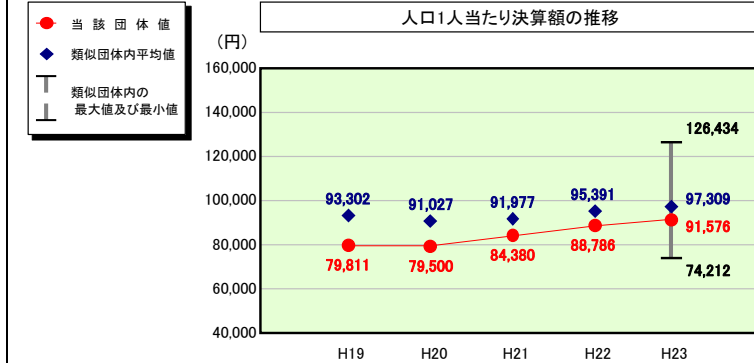
公債費以外の分析欄
矢掛町では、経常一般財源等が対前年度比4.2%減少しているのに対し、経常経費充当一般財源が2.5%増加したことにより、経常収支比率が5.6ポイント増加している。よって公債費に係る経常収支比率が0.3ポイント高くなっているが、公債費以外の経常収支比率については5.3ポイント高くなっている。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

岡山県矢掛町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



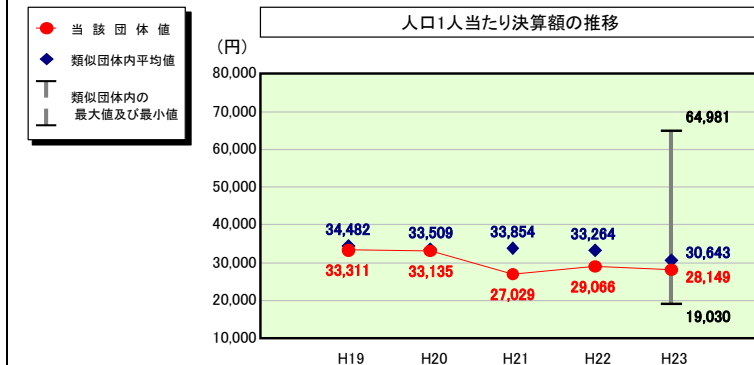
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	944,260	61,838	79,042	▲ 21.8
賃金 (物件費)	269,100	17,623	6,765	▲ 160.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	207,013	13,557	13,678	▲ 0.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	19,341	1,267	909	▲ 39.4
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	62,473	4,091	4,014	▲ 1.9
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	14,163	928	1,543	▲ 39.9
▲退職金	▲ 117,978	▲ 7,726	▲ 8,642	▲ 10.6
合計	1,398,372	91,576	97,309	▲ 5.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.48	8.53	▲ 2.05
ラスパイレス指数	103.7	104.5	▲ 0.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

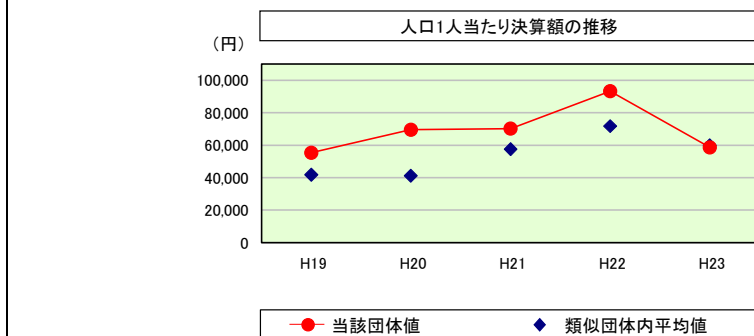


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	637,897	41,775	51,574	▲ 19.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	474,508	31,075	18,900	▲ 64.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	16,617	1,088	5,289	▲ 79.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	13,906	911	3,195	▲ 71.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 49,975	▲ 3,273	▲ 2,082	▲ 57.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 663,125	▲ 43,427	▲ 46,238	▲ 6.1
合計	429,828	28,149	30,643	▲ 8.1

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

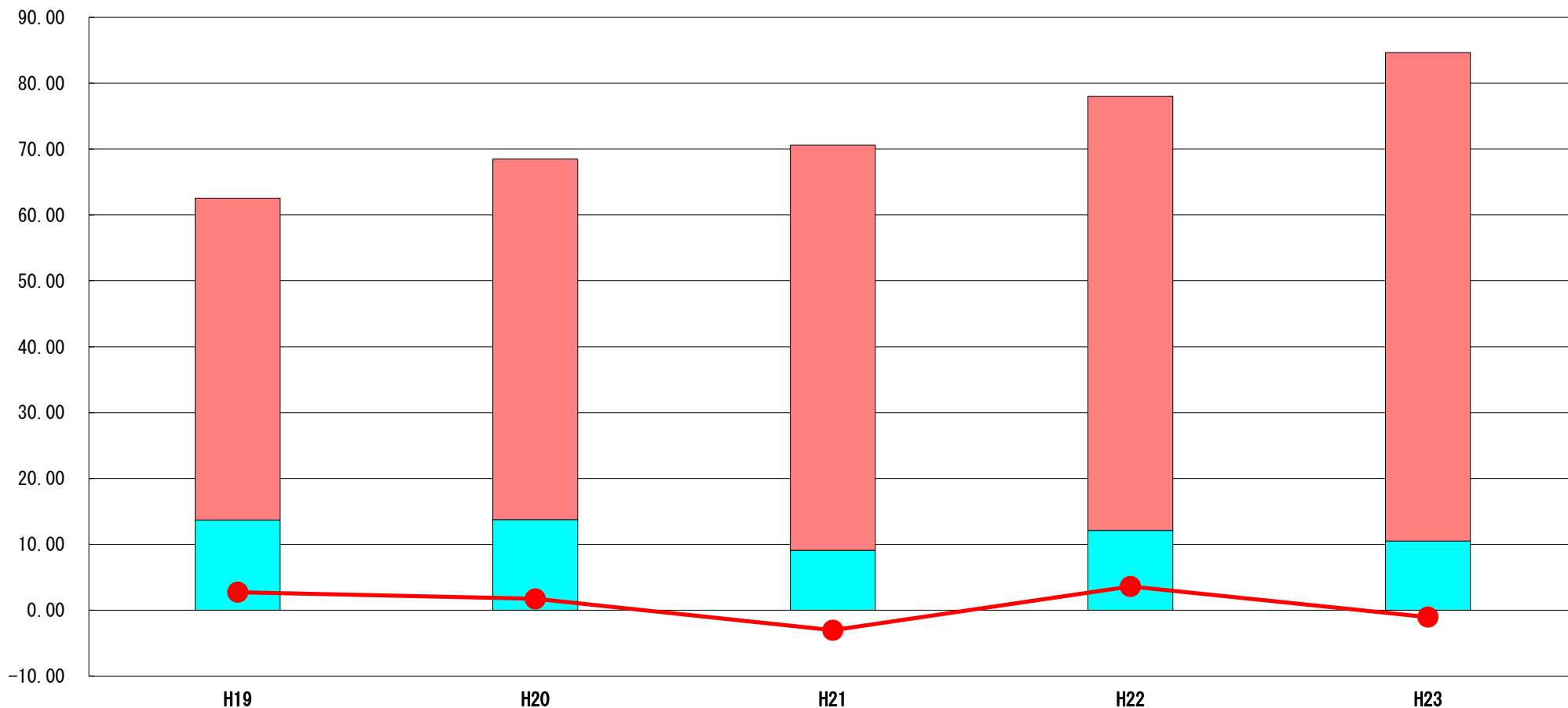
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額					
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)	
H19	882,493	55,322	76.1	41,791	▲ 4.4	80.5	
	うち単独分	392,619	24,613	77.0	25,330	▲ 6.1	83.1
H20	1,092,283	69,497	25.6	41,097	▲ 1.7	27.3	
	うち単独分	250,207	15,920	▲ 35.3	23,651	▲ 6.6	28.7
H21	1,093,997	70,214	1.0	57,455	39.8	▲ 38.8	
	うち単独分	486,105	31,199	96.0	33,958	43.6	52.4
H22	1,437,241	93,243	32.8	71,812	25.0	7.8	
	うち単独分	469,152	30,437	▲ 2.4	35,025	3.1	▲ 5.5
H23	895,167	58,623	▲ 37.1	59,829	▲ 16.7	▲ 20.4	
	うち単独分	197,945	12,963	▲ 57.4	33,669	▲ 3.9	▲ 53.5
過去5年間平均	1,080,236	69,380	19.7	54,397	8.4	11.3	
	うち単独分	359,206	23,026	15.6	30,327	6.0	9.6

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成23年度

岡山県矢掛町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		48.87	54.73	61.47	65.88	74.14
 実質収支額		13.69	13.76	9.11	12.13	10.51
 実質単年度収支		2.75	1.73	▲ 3.03	3.61	▲ 1.03

分析欄

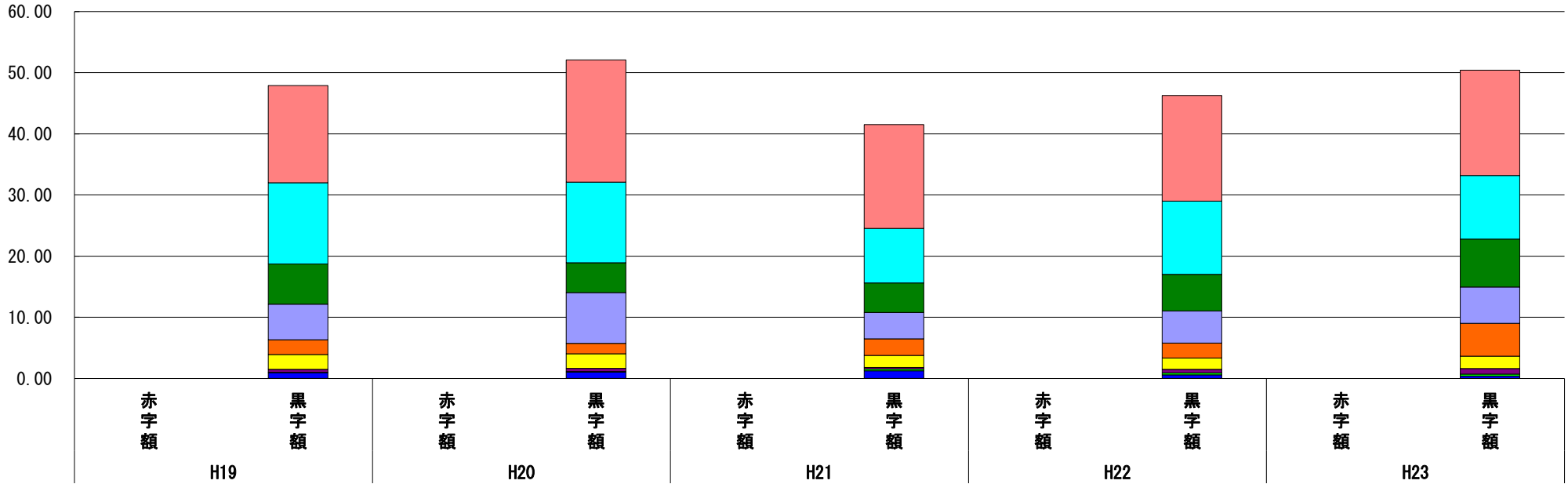
矢掛町では、地方財政法に基づき歳計剰余金の1/2を財政調整基金へ積み立てていることから基金残高が毎年増加している。これは積極的な国・県補助金の確保や過疎対策事業債など後年度交付税措置のある地方債の活用、また、人件費や物件費など歳出の抑制により剰余金が発生するものであり、今後も引き続き健全な財政運営に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

岡山県矢掛町

標準財政規模比（%）



会計	年度				
	H19	H20	H21	H22	H23
矢掛町病院事業会計	15.90	19.99	16.98	17.26	17.23
一般会計	13.29	13.19	8.92	11.98	10.39
矢掛町水道事業会計	6.56	4.89	4.83	6.01	7.85
矢掛町介護老人保健施設事業会計	5.82	8.29	4.32	5.25	5.94
矢掛町国民健康保険事業特別会計	2.42	1.72	2.69	2.42	5.37
矢掛町介護保険事業特別会計	2.42	2.39	1.98	1.86	2.02
矢掛町公共下水道事業特別会計	0.49	0.50	0.26	0.58	0.91
矢掛町農業集落排水事業特別会計	0.06	0.08	0.29	0.33	0.33
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.94	1.05	1.24	0.58	0.37

分析欄

矢掛町の各会計については、すべての会計で黒字経営となっており、各会計を合算した比率は昨年度を上回っている。中でも国民健康保険事業特別会計が2.95ポイント増加しているのが大きな要因となっている。

今後も引き続き基準に則った適正な繰出金の執行に努め、各会計での健全な財政運営に努める。

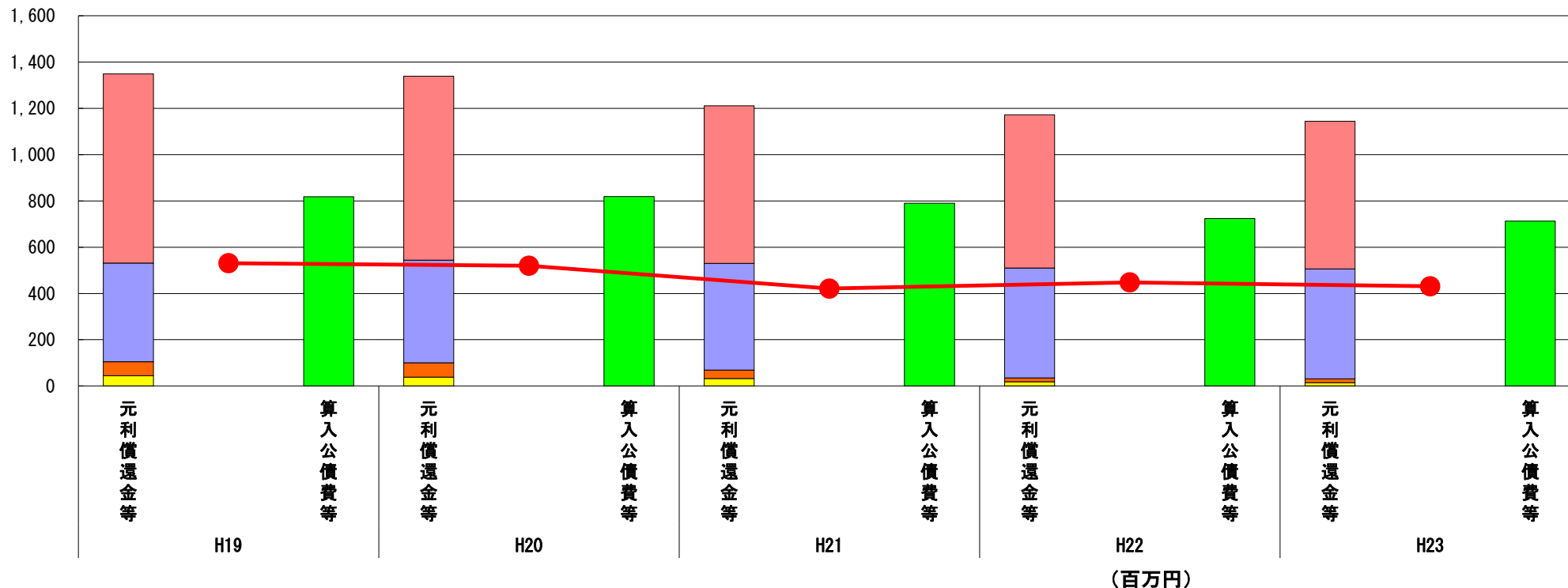
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

岡山県矢掛町

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		818	795	681	662	638
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		426	444	461	475	475
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		61	62	37	17	17
	債務負担行為に基づく支出額		44	38	32	18	14
	一時借入金の利子		-	-	-	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		818	819	790	724	713
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		531	520	421	448	431

分析欄

定時・繰上償還等により元利償還金は年々減少しているが、平成22年度の過疎地域指定に伴い、過疎対策事業債（後年度の元利償還額の7割が地方交付税で措置）の発行が認められたため、その積極的な活用による事業展開により今後は元利償還金の増加が見込まれる。また、公共下水道を平成30年度を目途に整備する中で、今後も発行していく公営企業債の元利償還金に対する繰入金も増加する見込みである。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

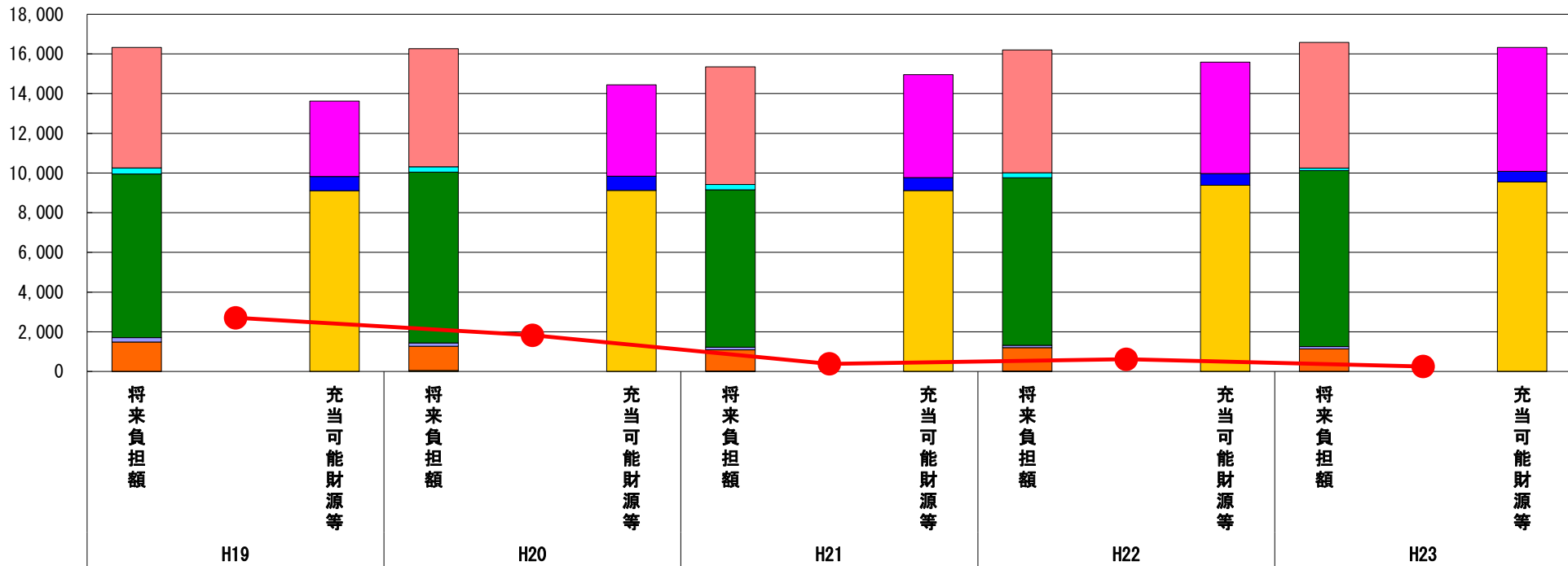
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

岡山県矢掛町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		6,067	5,950	5,924	6,190	6,329
	債務負担行為に基づく支出予定額		312	267	268	254	131
	公営企業債等繰入見込額		8,240	8,605	7,928	8,433	8,865
	組合等負担等見込額		218	165	135	119	112
	退職手当負担見込額		1,474	1,226	1,074	1,186	1,133
	設立法人等の負債額等負担見込額		14	47	18	18	9
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,795	4,598	5,186	5,610	6,243
	充当可能特定歳入		717	716	661	595	537
	基準財政需要額繰入見込額		9,109	9,124	9,110	9,380	9,544
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,703	1,822	389	614	254

分析欄

前年度と比較して将来負担額が増加しているものの、財政調整基金等の充当可能基金や基準財政需要額繰入見込額も増加しているため、将来負担比率の分子は減少している。将来負担額が増加した要因としては、平成30年度までを目途に公共下水道事業を実施することに伴い発行する下水道事業債等に係る公営企業債等繰入見込額が増額になったことが挙げられる。また、平成22年度の過疎地域指定に伴い、過疎対策事業債(後年度の元利償還額の7割が地方交付税で措置)の発行が認められたため、その積極的な活用による事業展開により一般会計に係る地方債の現在高が増額になっている。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。